

愛知県みよし市農業委員会（水田作2法人に対して農地の集約化を実施支援）

【令和4年度】

【農業委員会の体制】（令和2年7月20日任期開始 新制度移行後 2期目）

農業委員12名、農地利用最適化推進委員9名、事務局職員9名

1 地区の特徴・状況、課題

- みよし市は愛知県のほぼ中央に位置し、名古屋市と豊田市に近接している。
- 同市の水田面積は395haあり、その5割程が大規模水田作の担い手に集積されているが、借受水田が互いに入り組んでいる地域があり、農地の集約化が求められていた。

2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

- 市やJA等の関係機関と連携して、農地の集約化に向けた水田の利用調整を継続的に担い手に働きかけてきた。
- 国の「水田麦・大豆産地生産性向上事業」の活用を契機に、事業要件となる農地の集約化を図るため、大規模水田作2法人で話合いの場をもつことができた。

3 活動の成果

- 2法人の借受水田が入り組んでいた打越町（水田面積46.3ha）において、借受水田の入れ替えが合意ができ、農地中間管理事業を活用して借受水田を集団化することができた（図）。これと併せて農地中間管理事業への切替を進めることができた。



合意前

合意後

図 農地集約化の実施状況
（みよし市打越町）